

るものであった。

- ③ 「生活習慣と主要部位のがん -世界がん研究基金/米国がん研究協会編『食物・栄養とがん予防』の日本人への適用性-」  
日本がん疫学研究会がん予防指針検討委員会編著

96 Topicsのうち5 Topicsに関連した内容として、食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、胆嚢がん、膵がん、肺がん、女性乳房がん、子宮頸がん、子宮体がん、前立腺がんの11項目から情報抽出した。

2. がん関連電話相談に寄せられた相談内容の、質的分析および日本の患者/一般向け診療ガイドラインで提供されている情報との照合

今回の検討から相談者からあげられた質問/疑問の「乳がん診療ガイドライン」に対応する領域は、その他に分類された8名(全24名のうち33.3%)からあげられた28の質問や疑問(全Lay Topicsの17.5%)を除いては、ある程度「患者さんのための乳がん診療ガイドライン」で対応可能であった。しかし逆に言うと、24名から出された質問や疑問の内の1/3が、既存の情報だけでは回答できない領域のものであった。

#### D. 考察

今回検討を行ったNCI Fact Sheet、日本のエビデンスに関するレビュー情報は、情報の削除を含む更新が少なからず行われていた。また今回は、日本においてエビデンス情報としてまとめられている12トピックスに相当する領域についても、NCI Fact Sheetの対象トピックスを追加して検討を行った。NCI Fact Sheetの情報をもとに、日本のエ

ビデンスに関するレビュー情報で書かれている内容を比較すると、それぞれのエビデンス情報としてまとめられた領域のNCI Fact Sheetのカバー範囲と領域が異なることは、昨年度と同様に確認された。

さらに2009年度において行った、がんに関する一般市民からの電話相談に寄せられた相談内容の分析とこれら収集・蓄積した情報との照合作業により、相談者からあげられた質問/疑問が「乳がん診療ガイドライン」に対応する領域は、その他に分類された8名(全24名のうち33.3%)からあげられた28の質問や疑問(全24名からあげられたLay Topicsの17.5%)を除いては、ある程度「患者さんのための乳がん診療ガイドライン」で対応可能であった。しかし逆に言うと、約1/3にあたる相談者の質問や疑問には、エビデンスとして準備されている既存の情報だけでは対応不可能であったといえる。今後このギャップをうめるために、実際の相談者から寄せられる質問や疑問に即した情報づくり、整備が進められる必要があるだろう。

#### E. 結論

昨年度に引き続き、米国国立がん研究所が提供しているがん関連情報のNCI Fact Sheetから選択した96 Topicsの日本語訳の作成と、日本版NCI Fact Sheetとしてのがん情報基礎データベースの構築について、日本のエビデンスに関するレビュー情報、すなわち①日本で作成された診療ガイドライン、②国立がんセンター 予防研究部のプロジェクト成果、③「生活習慣と主要部位のがん -世界がん研究基金/米国がん研究協会編『食物・栄養とがん予防』の日本人への適用性-」

(日本がん疫学研究会がん予防指針検討委員会編著) から、日本における疫学及び臨床研究等によるエビデンス情報を更新、拡充し、収集・抽出、整理した。

NCI Fact Sheet の情報をもとに、日本のエビデンスに関するレビュー情報で書かれている内容を比較すると、それぞれのエビデンス情報としてまとめられた領域の NCI Fact Sheet のカバー範囲と領域が異なることは、昨年度と同様に確認された。

さらに 2009 年度において行った、がんに関する一般市民からの電話相談に寄せられた相談内容の分析とこれら収集・蓄積した情報との照合作業により、現在日本でエビデンスとして準備されている既存の情報だけでは相談者の質問や疑問に対しては対応不可能な内容も多く含まれており、今後このギャップをうめるために、実際の相談者から寄せられる質問や疑問に即した情報づくり、整備が進められる必要があると考えられた。

F. 健康危険情報  
なし

G. 研究発表

1. 論文発表
2. 学会発表

H. 知的財産権の出願

1. 特許取得  
なし
2. 実用新案登録  
なし
3. その他  
なし

表 1. エビデンス情報抽出作業対象に追加する候補項目となった 12 topics

(No. 4 は 2009 年度に移行する段階で 1 topic が NCI Fact Sheet から項目削除された)

No.	NCI No.	Subjects	Topics of the Fact Sheet	対応する内容があると思われる日本のガイドライン
1	7	Cancer Type	Inflammatory Breast Cancer: Questions and Answers	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 薬物療法 2007 年版 外科療法 2008 年版 放射線療法 2008 年版 検診・診断 2008 年版 疫学・予防 2008 年版
2	13	Cancer Type	Soft Tissue Sarcomas: Questions and Answers	軟部腫瘍診断ガイドライン (2005)
3	18 155	• Risk Factors and Possible Causes • About NCI	H. pylori and Pancreatic Cancer: Fact Sheet	科学的根拠に基づく膵癌診療ガイドライン 2006 年版
4	71	Detection/Diagnosis	Digital vs. Film Mammography in the Digital Mammographic Imaging Screening Trial (DMIST): Questions and Answers	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 薬物療法 2007 年版 外科療法 2008 年版 放射線療法 2008 年版 検診・診断 2008 年版 疫学・予防 2008 年版 マンモグラフィガイドライン第 2 版増補版 (2007) マンモグラフィを導入した乳癌検診システムのガイドライン (1997)
5	72	Detection/Diagnosis	Early Prostate Cancer: Questions and Answers	前立腺癌診療ガイドライン 2006 年版 前立腺がん検診ガイドライン 2008 年版 有効性評価に基づく前立腺がん検診ガイドライン (2008)
6	73	Detection/Diagnosis	Improving Methods for Breast Cancer Detection and Diagnosis	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 薬物療法 2007 年版 外科療法 2008 年版 放射線療法 2008 年版 検診・診断 2008 年版 疫学・予防 2008 年版 マンモグラフィガイドライン第 2 版増補版 (2007) マンモグラフィを導入した乳癌検診システムのガイドライン (1997)
7	75	Detection/Diagnosis	Ovarian Cancer Research Results from the Prostate, Lung, Colorectal and Ovarian (PLCO) Cancer Screening Trial: Fact Sheet	卵巣がん治療ガイドライン 2007 年版
8	124	Support/Coping/Resources	The Prostate Cancer Outcomes Study: Fact Sheet	前立腺癌診療ガイドライン 2006 年版
9	183	Cancer Advances In Focus	Cancer Advances In Focus: Breast Cancer	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 薬物療法 2007 年版 外科療法 2008 年版 放射線療法 2008 年版 検診・診断 2008 年版 疫学・予防 2008 年版
10	184	Cancer Advances In Focus	Cancer Advances In Focus: Cervical Cancer	子宮頸癌治療ガイドライン 2007 年版

表2. 2008年10月末～2009年4月23日の間に情報更新された  
Topics 10件と削除された Topics 2件

テーマID	テーマ日本語訳	テーマ英語	URL	項目の	Posted/Reviewed	Posted/Reviewed-2
024	アスベスト暴露	Asbestos Exposure: Questions and Answers	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Risk/asbestos">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Risk/asbestos</a>	A	2007/2/1	2009/4/16
057	乳がん予防研究	Breast Cancer Prevention Studies	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Prevention/breast-cancer">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Prevention/breast-cancer</a>	C	2005/6/1	2008/7/23
058	がんワクチン	Cancer Vaccine Fact Sheet	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/cancervaccine">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/cancervaccine</a>	A	2006/6/8	2009/3/17
086	パップテスト	The Pap Test: Questions and Answers	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Detection/Pap-test">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Detection/Pap-test</a>	A	2007/3/29	2009/2/2
087	PSA 検査	The Prostate-Specific Antigen (PSA) Test:	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Detection/PSA">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Detection/PSA</a>	A	2007/8/21	2009/3/18
092	血管形成阻害療法	Angiogenesis Inhibitors Therapy: Questions and Answers	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Therapy/angiogenesis-inhibitors">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Therapy/angiogenesis-inhibitors</a>	A	2008/8/13	2008/11/6
097	がんワクチン	Cancer Vaccine Fact Sheet	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/cancervaccine">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/cancervaccine</a>	A	2006/6/8	2009/3/17
119	がん支援団体	Cancer Support Groups: Questions and Answers	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/support/support-groups">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/support/support-groups</a>	B	2002/2/25	NCI Fact Sheet に項目なし
121	がんをもつ人々への経済援助と他の資源	Financial Assistance and Other Resources for People With	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Support/financial-resources">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Support/financial-resources</a>	C	2002/2/28	2009/2/5
122	がん患者の在宅ケア	Home Care for Cancer Patients	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Support/home-care">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Support/home-care</a>	D	2007/3/30	2009/3/9
131	あなたのヘルスケアチーム: あなたの医師ははじまりに過ぎない	Your Health Care Team: Your Doctor Is Only the Beginning	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Support/healthcare-team">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Support/healthcare-team</a>	C	2000/4/19	NCI Fact Sheet に項目なし
157	インターネット上の健康情報の評価をどうするか	How To Evaluate Health Information on the Internet:	<a href="http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Information/internet">http://www.cancer.gov/cancertopics/factsheet/Information/internet</a>	B	2005/9/1	2009/3/6

2008年11月確認以降に、  
reviewed/Updatedの日付が新しく  
なっていた項目

表3. 以下に示す 43 Topics に対して、計 170 ガイドライン（同一のガイドラインが関連するものとして異なる Topics に複数回選定されている場合は、それぞれの Topics ごとにカウントした）が選定された。

No	Topics ID	Topics タイトル
1	017	ピロリ菌とがん
2	019	中絶、流産と乳がんのリスク
3	032	乳がんリスクの推定
4	035	BRCA1 と BRCA2 の遺伝子検査：あなたの選択
5	037	ヒト・パピロマウイルスとがん
6	039	磁場暴露とがん
7	040	閉経後ホルモン補充療法とがん
8	043	NCI 乳房再建研究
9	046	肥満とがん
10	047	経口避妊薬とがんのリスク
11	048	妊娠と乳がんのリスク
12	049	心理的なストレスとがん
13	051	HPV と子宮頸ガンに関する最近の研究
14	052	シリコン乳房インプラントと乳がんのリスク
15	054	抗生物質の使用と乳がんリスクの増加との関係が発見
16	057	乳がん予防研究
17	058	がんワクチン
18	063	身体活動とがん
19	064	前立腺がん予防試験
20	070	タモキシフェンとラロキシフェン研究
21	072	大腸がんスクリーニング
22	073	CT
23	080	アメリカ女性の乳がんのなりやすさ
24	083	マンモグラムのスクリーニング
25	084	肺がんスクリーニングのスパイラル CT
26	085	病期分類
27	086	パップテスト
28	087	PSA 検査
29	089	腫瘍マーカー
30	091	乳がんの補助療法
31	096	骨髄移植と末梢血幹細胞移植
32	098	閉経後早期乳がんの再発低下のためのタモキシフェン使用後のプラセボとレトロゾール比較試験
33	099	がん治療の代替補完医療
34	104	がんの遺伝子治療
35	105	ハーセプチン R
36	111	予防的乳房切除術
37	113	がんの放射線療法
38	114	センチネルリンパ節生検
39	116	タモキシフェン
40	117	標的がん療法
41	120	終末期ケア
42	133	たばこ喫煙とがん
43	156	臨床試験

表4. 2009年度に追加公開された No. 92~109 までの 18 項目

No.	Topics ID	Topics タイトル	JPHC No.	JPHC タイトル
1	017	ピロリ菌とがん	37	ヘリコバクター感染と胃がん罹患との関係: CagA およびペプシノーゲンとの組み合わせによるリスク
			66	分化型胃がんと未分化胃がんにおけるヘリコバクター・ピロリ感染の意味について
2	032	乳がんリスクの推定	44	体格と乳がん罹患の関連について
3	040	閉経後ホルモン補充療法とがん	28	生殖関連要因やホルモン剤使用と女性の肺がんとの関係について
4	046	肥満とがん	17	肥満度 (BMI) とがん全体の発生率との関係について
			32	肥満指数 (BMI) 、身長と前立腺がんの関係について
			55	肥満指数・運動量、喫煙・糖尿病歴と膵がんとの関連について
5	047	経口避妊薬とがんのリスク	28	生殖関連要因やホルモン剤使用と女性の肺がんとの関係について
6	048	妊娠と乳がんのリスク	43	生理・生殖要因と乳がん罹患の関連について
7	057	乳がん予防研究	21	喫煙・受動喫煙と乳がん発生率との関係について
			43	生理・生殖要因と乳がん罹患の関連について
			44	体格と乳がん罹患の関連について
			65	血中のイソフラボン濃度と乳がん罹患との関係について
			9	大豆・イソフラボン摂取と乳がん発生率との関係について
8	063	身体活動とがん	42	身体活動量と大腸がん罹患との関連について
			55	肥満指数・運動量、喫煙・糖尿病歴と膵がんとの関連について
9	064	前立腺がん予防試験	32	肥満指数 (BMI) 、身長と前立腺がんの関係について
10	069	お茶とがん予防	16	緑茶飲用と胃がんとの関連について
			56	緑茶・コーヒー摂取と膵がんとの関連について
			60	緑茶飲用と前立腺がんとの関連について
			64	血中の緑茶ポリフェノールと胃がん罹患との関連について
11	072	大腸がんスクリーニング	47	大腸がん検診受診と大腸がん死亡率との関係
12	089	腫瘍マーカー	34	高感度 CRP (C 反応性蛋白) と大腸がん罹患との関係について
13	133	たばこ喫煙とがん	10	お酒・たばこと大腸がんの関連について
			14	喫煙とがん全体の発生率との関係について
			21	喫煙・受動喫煙と乳がん発生率との関係について
			4	飲酒とがん死亡率との関係について: たばこの影響
			5	たばこと肺がんとの関係について
			59	受動喫煙とたばこを吸わない女性の肺がんとの関連について
14	149	受動喫煙	7	たばこ・お酒と胃がんの関連について
			21	喫煙・受動喫煙と乳がん発生率との関係について
			59	受動喫煙とたばこを吸わない女性の肺がんとの関連について
15	152	女性と喫煙	14	喫煙とがん全体の発生率との関係について
			21	喫煙・受動喫煙と乳がん発生率との関係について
			59	受動喫煙とたばこを吸わない女性の肺がんとの関連について

表5. 食道がん、胃がん、大腸がん、肝がん、胆嚢がん、膵がん、肺がん、女性乳房がん、子宮頸がん、子宮体がん、前立腺がんの11項目が該当した5 Topics

No.	Topics ID	Topics タイトル	がん疫学研究 目次番号	がん疫学研究目次名
1	046	肥満とがん	1	食道がん
			10	子宮体がん
			11	前立腺がん
			2	胃がん
			3	大腸がん
			4	肝がん
			5	胆嚢がん
			6	膵がん
			7	肺がん
			8	女性乳房がん
			9	子宮頸がん
2	063	身体活動とがん	1	食道がん
			10	子宮体がん
			11	前立腺がん
			2	胃がん
			3	大腸がん
			4	肝がん
			5	胆嚢がん
			6	膵がん
			7	肺がん
			8	女性乳房がん
			9	子宮頸がん
3	069	お茶とがん予防	1	食道がん
			10	子宮体がん
			11	前立腺がん
			2	胃がん
			3	大腸がん
			4	肝がん
			5	胆嚢がん
			6	膵がん
			7	肺がん
			8	女性乳房がん
			9	子宮頸がん
4	133	たばこ喫煙とがん	1	食道がん
			10	子宮体がん
			11	前立腺がん
			2	胃がん
			3	大腸がん
			4	肝がん
			5	胆嚢がん
			6	膵がん
			7	肺がん
			8	女性乳房がん
			9	子宮頸がん
5	149	受動喫煙	1	食道がん
			10	子宮体がん
			11	前立腺がん
			2	胃がん
			3	大腸がん
			4	肝がん
			5	胆嚢がん
			6	膵がん
			7	肺がん
			8	女性乳房がん
			9	子宮頸がん

## 資料 1

### 日本版 NCI Fact sheet 作成のための ガイドラインからの情報抽出作業 Flow

#### 1 ガイドラインの選択基準

- ・同じ疾患に関するガイドラインが複数存在する場合には、情報抽出用としては発行年の新しいものを選択する。
- ・CQ 形式のもの、テキスト Book 形式のもの、については CQ 形式のものを優先とする。

#### 2 ガイドライン中から、NCI Fact Sheet の Topics に該当する Clinical Question (CQ) の選択

以下のどちらの場合もあり得ることを認識しておき、NCI Fact Sheet の各 Topic にガイドライン中の情報になるべくもれなく抽出されるようにする。

- ・NCI Fact Sheet の 1 Topic に、ガイドライン中の複数の CQ が該当する場合
- ・ガイドラインの 1 CQ に、NCI Fact Sheet の複数 Topics が該当する場合

#### 3 CQ に記載されている内容から、Topics に関連する内容を抽出

抽出する場所: 主に Recommendation の部分を抽出するが、必要に応じて、Recommendation の元となった解説部分やエビデンスに関する記載の部分からも抽出する。

抽出時の注意点: Recommendation 部分、解説部分やエビデンスに関する記載の部分のいずれからの場合でも、抽出する情報が以下のどの情報にあたるかを分類しつつ、その分類の情報として適切な内容・表現になっているかを意識して抽出する。

- (1) 疫学的情報 (有病割合、予後など)
- (2) 危険因子に関する情報 (疾病の原因など)
- (3) 予防または治療の介入効果に関する情報 (介入により得られるメリット)
- (4) 予防または治療の介入による有害作用に関する情報 (介入から受けるデメリット)
- (5) 診断方法に関する情報
- (6) その他

#### 4 抽出内容について、以下について区別する。

- (1) 情報内容-1: 結論としての内容
- (2) 情報内容-2: 根拠に関する情報 (研究結果の内容など)
- (3) 情報源に関する内容 (研究そのものに関する情報)

#### 5 共通の Topic に対して異なるガイドラインからの抽出情報がある場合には、整合性があるかどうかを確認する。整合性がない内容については、その旨をそれぞれの情報に明記しておく。

事例: PSA 検査の Topic 関し、前立腺がん検診の以下の 2 ガイドラインにおける内容

- ・前立腺がん検診ガイドライン 2008 年版 構造化抄録 CD-ROM 付 (第 1 版) 日本泌尿器科学会ほか 2008 年 4 月 1 日
- ・有効性評価に基づく前立腺がん検診ガイドライン 平成 19 年度 厚生労働省がん研究助成金「がん検診の適切な方法とその評価法の確立に関する研究」班 2008 年 3 月 31 日



資料 2

Minds 診療ガイドライン・データについて

診療ガイドライン検索方法(2007 年度)

データベース	抽出条件
AMAZON	医学・薬学のカテゴリーの中で、書籍のタイトルに "ガイドライン" の記載のあるもの
日本医書出版協会	書籍タイトル (準書名・書名・副題・シリーズ名) に "ガイドライン" の記載のあるもの
厚生労働科学研究成果データベース	全項目 (研究課題名、要旨等) に、"ガイドライン" の記載のあるもの
文部科学省データベース	医歯薬分野の中で、全項目 (研究課題名、要旨等) に、"ガイドライン" の記載のあるもの
医学中央雑誌	研究デザイン項目に、"診療ガイドライン" が付与されているもの (1999 年以降 付与開始)
東邦大学医学メディアセンター	全てのデータを抽出
日本医科大学電子図書館 EBM ガイドライン	全てのデータを抽出
今日の治療指針(医学書院) 付録: 診療ガイドライン	全てのデータを抽出
ガイドライン外来診療(日経メディカル開発)	目視にて診療ガイドラインの情報を抽出、手入力

## 資料 3

付録 1. 金原出版株式会社ホーム・ページで紹介されている診療ガイドライン 38 冊 (2009 年 12 月 14 日現在)

No.	標題	作成者	発行日
1	食道癌診断・治療ガイドライン (第 2 版)	編) 日本食道学会	2007/04/10
2	胃癌治療ガイドライン(医師用)2004 年 4 月改訂(第 2 版)	編) 日本胃癌学会	2004/04/30
3	胃がん治療ガイドラインの解説 (一般用) 2004 年 12 月改訂 胃がんの治療を理解しようとするすべての方のために(第 2 版)	編) 日本胃癌学会	2004/12/20
4	大腸癌治療ガイドライン 医師用 2009 年版	編) 大腸癌研究会	2009/07/03
5	大腸癌治療ガイドラインの解説 2009 年版 大腸癌について知りたい人のために 大腸癌の治療を受ける人のために(第 2 版)	編) 大腸癌研究会	2009/01/20
6	科学的根拠に基づく肝臓診療ガイドライン 2009 年版 アブストラクトフォーム集 CD-ROM 付き(第 2 版)	編) 日本肝臓学会	2009/11/24
7	科学的根拠に基づく膵臓診療ガイドライン 2009 年版 構造化抄録 CD-ROM 付(第 2 版)	編) 日本膵臓学会 膵臓診療ガイドライン委員会	2009/10/05
8	急性膵炎診療ガイドライン 2010 (第 3 版)	編) 急性膵炎診療ガイドライン 2010 改定出版委員会ほか	2009/07/30
9	内視鏡外科診療ガイドライン 2008 年版 (第 1 版)	編) 日本内視鏡外科学会	2008/09/01
10	EBM の手法による肺癌診療ガイドライン 2005 年版 (第 2 版)	編) 日本肺癌学会	2005/11/20
11	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 1. 薬物療法 2007 年版 構造化抄録 CD-ROM 付(第 1 版)	編) 日本乳癌学会	2007/06/29
12	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 2. 外科療法 2008 年版 構造化抄録 CD-ROM 付(第 1 版)	編) 日本乳癌学会	2008/09/26
13	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 3. 放射線療法 2008 年版構造化抄録 CD-ROM 付(第 1 版)	編) 日本乳癌学会	2008/09/26
14	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 4. 検診・診断 2008 年版構造化抄録 CD-ROM 付(第 1 版)	編) 日本乳癌学会	2008/09/26
15	科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 5. 疫学・予防 2008 年版構造化抄録 CD-ROM 付(第 1 版)	編) 日本乳癌学会	2008/09/26
16	乳腺における細胞診および針生検の報告様式ガイドライン (第 1 版)	編) 日本乳癌学会	2003/06/05
17	患者さんのための乳がん診療ガイドライン 2009 年版 (改定第 2 版) 旧版: 乳がん診療ガイドラインの解説 2006 年版 乳がんについて知りたい人のために	編) 日本乳癌学会 編) 日本乳癌学会	2009/07/03 2006/07/07
18	子宮体癌治療ガイドライン 2009 年版 (第 2 版)	編) 日本婦人科腫瘍学会	2009/11/30
19	子宮頸癌治療ガイドライン 2007 年版 (第 1 版)	編) 日本婦人科腫瘍学会	2007/10/20
20	卵巣がん治療ガイドライン 2007 年版 (第 1 版)	編) 日本婦人科腫瘍学会	2007/10/20
21	前立腺癌診療ガイドライン 2006 年版 構造化抄録 CD-ROM 付(第 1 版)	編) 日本泌尿器科学会	2006/05/20
22	腎癌診療ガイドライン 2007 年版 構造化抄録 CD-ROM 付(第 1 版)	編集) 日本泌尿器科学会	2007/10/10
23	精液検査標準化ガイドライン 付 CD-ROM (第 1 版)	監修) 日本泌尿器科学会	2003/07/20

	1版)	編) 精液検査標準化ガイドライン作成ワーキンググループ	
24	生殖医療ガイドライン 2007 (改訂第 3 版)	編) 日本生殖医学会	2007/08/01
25	尿路結石症診療ガイドライン (第 1 版)	編) 日本泌尿器科学会ほか	2002/12/20
26	尿路感染症臨床試験ガイドライン (第 1 版)	編) 日本泌尿器科学会尿路感染症臨床試験ガイドライン作成委員会	1998/02/28
27	臨床試験実施ガイドライン 第 III 相試験を中心として 2008 年 3 月(第 2 版)	編) 日本癌治療学会臨床試験委員会	2008/09/20
28	小児白血病・リンパ腫の診療ガイドライン (第 1 版)	編) 日本小児血液学会	2007/09/28
29	小児急性中耳炎診療ガイドライン 2009 年版 (改訂第 2 版)	編) 日本耳科学会	2008/12/26
30	嚥下障害診療ガイドライン 耳鼻咽喉科外来における対応 2008 年版 嚥下内視鏡検査の実際 動画 CD-ROM・付(第 1 版)	編) 日本耳鼻咽喉科学会	2008/08/01
31	科学的根拠に基づく皮膚悪性腫瘍診療ガイドライン 構造化抄録 CD-ROM 付き(第 1 版)	編) 日本皮膚悪性腫瘍学会	2007/04/20
32	GIST 診療ガイドライン 2008 年 9 月改定 (第 2 版)	編) 日本癌治療学会ほか	2008/11/15
33	前立腺がん検診ガイドライン 2008 年版 構造化抄録 CD-ROM 付(第 1 版)	編) 日本泌尿器科学会ほか	2008/04/01
34	外来がん化学療法看護ガイドライン 1.抗がん剤の血管外漏出の予防・早期発見・対処 2009 年版(第 1 版)	編) 聖路加看護大学外来がん化学療法看護ワーキンググループ	2008/12/26
35	科学的根拠に基づく口腔癌診療ガイドライン 2009 年版 構造化抄録 CD-ROM 付(第 1 版)	編) 日本口腔腫瘍学会口腔癌治療ガイドライン作成ワーキンググループほか	2009/01/30
36	リンパ浮腫診療ガイドライン 2008 年度版 (第 1 版)	編) リンパ浮腫診療ガイドライン作成委員会ほか	2009/01/20
37	頭頸部癌診療ガイドライン 2009 年版(第 1 版)	編) 日本頭頸部癌学会	2009/03/10
38	精巣腫瘍診療ガイドライン 2009 年版 構造化抄録 CD-ROM 付(第 1 版)	編) 日本泌尿器科学会	2009/10/20

資料 4

日本癌治療学会ホーム・ページの「がん診療ガイドライン」のページに公開されている  
14 癌腫（2009 年 12 月 14 日現在）

No.	疾患	URL	情報元の学会等
1	胃がん	<a href="http://www.jasco-cpg.jp/item/01/index.html">http://www.jasco-cpg.jp/item/01/index.html</a>	日本胃癌学会
2	GIST	<a href="http://www.jasco-cpg.jp/item/03/index.html">http://www.jasco-cpg.jp/item/03/index.html</a>	日本癌治療学会 GIST ガイドライン委員会
3	食道がん	<a href="http://www.jasco-cpg.jp/item/09/index.html">http://www.jasco-cpg.jp/item/09/index.html</a>	日本食道学会
4	腎がん	<a href="http://www.jasco-cpg.jp/item/10/index.html">http://www.jasco-cpg.jp/item/10/index.html</a>	日本泌尿器科学会
5	膵がん	<a href="http://www.jasco-cpg.jp/item/11/index.html">http://www.jasco-cpg.jp/item/11/index.html</a>	日本膵臓学会
6	大腸がん	<a href="http://www.jasco-cpg.jp/item/13/index.html">http://www.jasco-cpg.jp/item/13/index.html</a>	大腸癌研究会
7	胆道がん	<a href="http://www.jasco-cpg.jp/item/14/index.html">http://www.jasco-cpg.jp/item/14/index.html</a>	日本肝胆膵外科学会
8	乳がん	<a href="http://www.jasco-cpg.jp/item/16/index.html">http://www.jasco-cpg.jp/item/16/index.html</a>	日本乳癌学会
9	皮膚悪性腫瘍	<a href="http://www.jasco-cpg.jp/item/21/index.html">http://www.jasco-cpg.jp/item/21/index.html</a>	日本皮膚悪性腫瘍学 会
10	卵巣がん	<a href="http://www.jasco-cpg.jp/item/22/index.html">http://www.jasco-cpg.jp/item/22/index.html</a>	日本婦人科腫瘍学会
11	肝がん	<a href="http://www.jasco-cpg.jp/item/02/index.html">http://www.jasco-cpg.jp/item/02/index.html</a>	日本肝臓学会
12	子宮頸がん	<a href="http://www.jasco-cpg.jp/item/06/index.html">http://www.jasco-cpg.jp/item/06/index.html</a>	日本婦人科腫瘍学会
13	子宮体がん	<a href="http://www.jasco-cpg.jp/item/24/index.html">http://www.jasco-cpg.jp/item/24/index.html</a>	日本婦人科腫瘍学会
14	小児白血病	<a href="http://www.jasco-cpg.jp/item/08/index.html">http://www.jasco-cpg.jp/item/08/index.html</a>	日本小児血液学会

## 資料 5

## JPHC Study の結果概要として公開されている 109 項目 (2009 年 12 月 14 日現在)

No.	項目名	公開年月日
1	飲酒と死亡	1999.2.24
2	喫煙と死亡	2002.1.25
3	肥満指数と死亡	2002.1.25
4	飲酒とがん死亡	2002.5.1
5	喫煙と肺がん罹患	2002.7.10
6	アンケート回答有無と死亡	2002.7.10
7	喫煙・飲酒と胃がん罹患	2002.11.20
8	野菜・果物摂取と胃がん罹患	2002.11.20
9	大豆イソフラボン摂取と乳がん罹患	2003.6.17
10	飲酒・喫煙と大腸がん罹患	2004.1.18
11	食塩塩蔵食品と胃がん罹患	2004.1.18
12	飲酒と脳卒中罹患	2004.3.15
13	食生活パターンと胃がん罹患	2004.4.16
14	喫煙とがん罹患	2004.4.23
15	野菜・果物摂取量と肺がん罹患	2004.5.22
16	緑茶飲用と胃がん罹患	2004.8.3
17	肥満度(BMI)とがん罹患	2004.8.11
18	喫煙と脳卒中罹患	2004.8.24
19	魚・n-3 脂肪酸摂取と大腸がん罹患	2004.9.27
20	飲酒と 2 型糖尿病の発症	2004.10.25
21	喫煙・受動喫煙と乳がん罹患	2004.11.29
22	飲酒とがん罹患	2004.12.24
23	たばこと自殺	2005.1.17
24	コーヒー摂取と肝がん罹患	2005.2.16
25	野菜・果物摂取と大腸がん罹患	2005.5.9
26	食生活パターンと大腸がん罹患	2005.5.12
27	肥満指数・身長と大腸がん罹患	2005.9.8
28	生殖関連要因やホルモン剤使用と女性の肺がん罹患	2005.9.14
29	魚・n-3 脂肪酸摂取と虚血性心疾患発症	2006.1.16
30	胃がん検診受診と胃がん死亡率	2006.1.19
31	飲酒と自殺	2006.3.1
32	肥満指数(BMI)、身長と前立腺がん	2006.3.13
33	喫煙と虚血性心疾患との関係	2006.4.11
34	高感度 CRP (C 反応性蛋白)と大腸がん罹患との関係について	2006.4.19
35	特定集団の相対リスクは一般化できるか	2006.5.26
36	食物繊維摂取と大腸がん罹患との関連について	2006.7.20
37	ヘリコバクター・ピロリ菌感染と胃がん罹患との関係	2006.9.4
38	糖尿病とその後のがん罹患との関連について	2006.9.26
39	肺がん家族歴と肺がん罹患との関連について	2006.10.10
40	卵と心筋梗塞発症の関連について	2006.11.17
41	便通、便の状態と大腸がん罹患との関連について	2006.12.20
42	身体活動量と大腸がん罹患との関連について	2007.2.20
43	生理・生殖要因と乳がん罹患の関連について	2007.2.21
44	体格と乳がん罹患の関連について	2007.2.21
45	ビタミンC 摂取と老人性白内障発症の関係について	2007.2.27

46	インスリン関連マーカーと大腸がん罹患との関係について	2007.3.1
47	大腸がん検診受診と大腸がん死亡率との関係	2007.3.14
48	大豆製品・イソフラボン摂取量と前立腺がんとの関連について	2007.3.16
49	飲酒パターンと総死亡との関連について	2007.4.6
50	飲酒習慣と心筋梗塞の関連について	2007.4.6
51	ビタミン D と大腸がん罹患との関係について	2007.8.1
52	コーヒー摂取と大腸がんとの関連について	2007.8.1
53	葉酸、ビタミン B6、ビタミン B12、メチオニン摂取と大腸がん罹患との関連について	2007.8.1
54	肥満指数 (BMI) 、体重の変化と虚血性心疾患発症について	2007.8.22
55	肥満指数・運動量、喫煙・糖尿病歴と膵がんとの関連について	2007.10.5
56	緑茶・コーヒー摂取と膵がんとの関連について	2007.10.5
57	野菜・果物と全がん・循環器疾患罹患との関連について	2007.10.24
58	イソフラボンと脳梗塞・心筋梗塞発症との関連について	2007.12.3
59	受動喫煙とたばこを吸わない女性の肺がんとの関連について	2007.12.12
60	緑茶飲用と前立腺がんとの関連について	2007.12.19
61	胆石症、肥満指数と胆道がんとの関連について	2007.12.19
62	血中の葉酸と大腸がん罹患との関係について	2007.12.20
63	社会的な支えと循環器疾患の発症・死亡リスクとの関連	2008.2.6
64	血中の緑茶ポリフェノールと胃がん罹患との関係について	2008.2.22
65	血中イソフラボン濃度と乳がん罹患との関係について	2008.3.7
66	分化型胃がんと未分化胃がんにおけるヘリコバクター・ピロリ感染の意味について	2008.3.25
67	乳製品、飽和脂肪酸、カルシウム摂取量と前立腺がんとの関連について	2008.4.16
68	葉酸、ビタミン B6、ビタミン B12 摂取と虚血性心疾患発症との関連について	2008.5.27
69	飲酒と肺がんの発生率との関係について	2008.5.30
70	身体活動量と死亡との関連について	2008.6.4
71	カルシウム摂取量と腰椎骨折との関連について	2008.6.26
72	身体活動量とがん罹患との関連について	2008.7.10
73	血中のカロテノイドと胃がん罹患との関係について	2008.7.17
74	タイプ A 行動パターンと虚血性心疾患発症リスクとの関連	2008.7.18
75	カルシウム摂取と循環器疾患の関連について	2008.7.29
76	教育歴、社会的役割と循環器疾患発症リスクとの関連	2008.8.12
77	野菜・果物摂取と扁平上皮細胞由来食道がんとの関連について	2008.8.14
78	血中有機塩素系化合物濃度と乳がん罹患との関係について	2008.8.22
79	コーヒーと子宮体がんの発生率との関係について	2008.9.1
80	大豆製品・イソフラボン摂取と大腸がんとの関連について	2008.9.10
81	喫煙、禁煙年数と歯の喪失との関連について	2008.9.22
82	学歴とがん・循環器系疾患罹患リスク及び死亡リスクとの関連について	2008.9.22
83	身体指標とメタボリックシンドロームとの関連について	2008.9.29
84	女性関連要因と胃がんとの関連について	2008.11.14
85	女性関連要因と大腸がんとの関連について	2008.11.14
86	血中イソフラボン濃度と前立腺がん罹患との関連について	2008.11.27
87	カルシウム、ビタミン D 摂取と大腸がん罹患との関連について	2008.12.9
88	飲酒と食道がんの発生率との関係について	2008.12.10
89	喫煙、コーヒー、緑茶、カフェイン摂取と膀胱がん発生率との関係について	2008.12.24
90	家族構成と虚血性心疾患発症リスクとの関連	2009.01.05
91	喫煙・飲酒・肥満度の組み合わせとがん発生・循環器系疾患発症について	2009.01.30

92	肝機能指標（血中 ALT 値）と肝がんとの関係について	2009.03.11
93	メタボリック症候群関連要因（メタボ関連要因）と肝がんとの関係について	2009.03.11
94	野菜・果物および抗酸化物質摂取と肝がんとの関係について	2009.03.11
95	イソフラボン摂取と肝がんとの関係について	2009.03.11
96	メタボリックシンドローム関連要因（メタボ関連要因）とがんとの関係について	2009.04.17
97	メタボリックシンドローム関連要因（メタボ関連要因）と循環器疾患発症との関係	2009.04.17
98	メタボリックシンドローム関連要因（メタボ関連要因）と死亡との関係について	2009.04.17
99	血圧区分と循環器疾患発症リスクおよび死亡リスクとの関係	2009.04.17
100	10年間の BMI の変化と肥満の発生率について	2009.04.23
101	体重変化と死亡率との関係について	2009.04.24
102	飲酒と循環器疾患発症との関係への社会的な支えの影響	2009.05.22
103	血清ヘリコバクター・ピロリ抗体価の臨床的意義について	2009.05.26
104	精神的要因、コーヒーと糖尿病との関係について	2009.06.02
105	教育歴と身体的機能障害の関係	2009.06.09
106	脳卒中・心筋梗塞の自己申告データの正確さについて	2009.07.08
107	コーヒー・緑茶摂取と肝がんとの関係について	2009.07.17
108	生活を楽しんでいる意識と循環器疾患	2009.09.30
109	総コレステロール値とがん発生リスクとの関係	2009.10.15

## 資料 6

「生活習慣改善によるがん予防法の開発に関する研究」ホームページの「日本人のためのがん予防法・現状において推奨できる科学的根拠に基づくがん予防法」の 6 項目（2009 年 12 月 14 日現在）[http://ganjoho.ncc.go.jp/public/pre\\_scr/prevention/evidence\\_based.html](http://ganjoho.ncc.go.jp/public/pre_scr/prevention/evidence_based.html)

- ・ たばこは吸わない。他人のたばこの煙をできるだけ避ける。
- ・ 飲むなら節度のある飲酒をする。
- ・ 偏らずバランスよくとる。
  - \* 塩蔵食品、食塩の摂取は最小限にする。
  - \* 野菜や果物不足にならない。
  - \* 加工肉、赤肉（牛・豚・羊など）はとり過ぎないようにする。
  - \* 飲食物を熱い状態でとらない。
- ・ 日常生活を活動的に過ごす
- ・ 成人期での体重を適正な範囲に維持する（太り過ぎない、やせ過ぎない）
- ・ 肝炎ウイルス感染の有無を知り、感染している場合はその治療の措置をとる。



平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金（第 3 次対がん総合戦略研究事業）  
患者・家族・国民の視点に立った適切ながん情報提供サービスのあり方に関する研究  
（研究代表者：高山智子）

### 分担研究報告書

## 相談者からの質問・疑問（Lay Topics）の抽出方法と Lay Topics 活用の可能性の検討

分担研究者	高山智子	国立がんセンター がん対策情報センター がん情報・統計部 診療実態調査室 室長
	八巻知香子	国立がんセンター がん対策情報センター がん情報・統計部
	関由起子	埼玉大学 教育学部 准教授
研究協力者	瀬戸山陽子	聖路加看護大学大学院
	八重ゆかり	東京大学大学院医学系研究科 薬剤疫学講座

### 研究要旨

がん患者や家族から直接寄せられる疑問は、医療者が気づかない疑問や切り口を含んだ、利用者の視点に立った情報づくりにつなげることができる。本研究では、患者や家族の視点での継続的な情報づくりの体制のために、「相談者からの質問・疑問」の抽出方法の安定性および既存情報（診療ガイドライン）との対応状況について検討した。

「相談者からの質問・疑問(Lay Topics: LT)」は、情報や支援体制づくりにつながると考えられる"相談者から自発的に出された、疑問、尋ねたいこと、不安や困っていることを含む発言"と定義し、乳がんの相談 24 事例について、医療・福祉の資格を持つ研究者(4 名)が独立に、個人情報を取り除いた相談対応記録音声データから直接 LT の抽出を行った。

その結果、相談者 1 人あたりの LT は平均 6.7 個、合計 160 個の LT が抽出された。また研究者間での抽出一致率 (LT/全 LT )は 0.78 であり、安定して抽出できることが確認された。乳がんの診療ガイドラインの掲載内容別の LT の分布で多かったのは、手術 15 名 (63%)、薬物 12 名 (50%)、転院・再発 7 名(29%)であった。一方でガイドラインに掲載されていない内容も 8 名 (33%) からあげられ、相談者によっては相談内容すべてが、ガイドラインに関係しない質問や疑問だけとなっていた。今後相談者からの質問や疑問から情報づくりを行うことで、診療ガイドラインの内容の補完や当事者に即した情報づくりに繋がれると考えられた。さらに、相談者から直接寄せられる Lay Topics 内には、現在医療現場で起きている課題や問題が含まれることからこうした内容を整理していくことで、今後の問題解決の足がかりにも繋げていく可能性があると考えられた。

## A. 研究目的

がん患者や家族から直接寄せられる疑問は、医療者が気づかない疑問や切り口を含んだ、利用者の視点に立った情報づくりにつなげることができる。本研究では、患者や家族の視点での継続的な情報づくりの体制のために、「相談者からの質問・疑問」の抽出方法の安定性および既存情報（診療ガイドライン）との対応状況について検討した。

## B. 研究方法

### 1. 「相談者からの質問・疑問(Lay Topics: LT)」の定義

「相談者からの質問・疑問(Lay Topics: LT)」は、情報や支援体制づくりにつながると考えられる"相談者から自発的に出された、疑問、尋ねたいこと、不安や困っていることを含む発言"と定義した。

具体的には、「相談者からの質問・疑問(Lay Topics: LT)」は、抽出すべき LT として内容と形式の2側面から、1. (内容) 相談者から自発的に出された、疑問に思っていること、尋ねたいことを含む発言、2. (形式) 相談者から自発的に出された、不安に思っていること、困っていることを含む発言とし、特に形式に関しては、質問の形式をとっている場合には、原則すべて抽出対象にすること、また、質問の形式をとっていない場合は、Social Support の4機能 ( Informational, Instrumental, Emotional, Appraisal support ) のうち Informational と Instrumental support に相当するもの、すなわち、「不安に思っていること」については、情報提供や手段の提示等のその「不安」を解消または軽減させ

る方法を提示することができるもの、「困りごと」については、「困りごと」そのものが具体的であり、対処方法を提示することができるものとした。また医療福祉の制度上などの理由により現在利用できない対処方法の場合にも、その「困りごと」を解消または軽減させる対処方法の提示が可能な場合には抽出することとした。

### 2. 「相談者からの質問・疑問(Lay Topics: LT)」の抽出

「相談者からの質問・疑問(Lay Topics: LT)」の定義にしたがって、乳がんの相談 24 事例について、医療・福祉の資格を持つ研究者(4名)が独立に、個人情報を取り除いた相談対応記録音声データから直接 Lay Topics の抽出を行った。

乳がんの相談 24 事例は、NPO 法人日本臨床研究支援ユニットがん電話情報センターに 2008 年 7 月～11 月の 2 か月間に寄せられた相談内容のうち、乳がんに関する相談として抽出された事例である。相談事例については、連結不可能匿名化データとしてがん電話情報センターから入手し、直接録音データを聞くことにより、各研究者が Lay Topics の抽出を行った。また既存情報との照合に際しては、日本乳癌学会編「患者さんのための乳がん診療ガイドライン 2009 年版」を用いて行った。

音声から確認できた相談者の年齢は平均 58.6 才 (41-78 才)、相談時間は約 16 分 (2-28.5 分)、24 事例中 21 名が本人からの相談、乳がんと診断されたあとだったものは 20 名であった。相談が寄せられた地域は、東京 4、神奈川 6、埼玉 7、愛知 3、福井 1、奈良 1、大阪 2、兵庫 1 であり、関東 17(68%) 東海・北陸 4 近畿 4 という

分布であった。

(倫理面への配慮)

### 1) 連結不可能匿名化データの入手

相談の録音データは、NPO 法人日本臨床研究支援ユニットの個人情報保護に関する方針・コンプライアンスプログラムに沿って、相談者の情報は連結不可能匿名化され、提供を受けた。

### 2) 対象者への説明および同意取得

「がん電話情報センター」では、相談者に対し、電話相談を受け付ける前に自動録音で「個人情報を完全に切り除き、研究用データとして利用させていただくことがあります。ご質問のある方は、相談員にお尋ねください。」と流し、さらにパンフレットやポスターでは、表記されている電話番号の横に「個人を特定できる情報を一切含まない形ではありますが、相談の音声記録を教育と学術研究目的のデータとして利用することがあります。研究への利用を拒否される場合は、その旨を相談員にお伝えください」という文章を付記することによって、研究利用に関する周知を図った。また、相談員には、「がん電話情報センター」の相談の質の向上のために、個人情報を伏せた相談内容を研究利用に用いることがあると、口頭、および文書で伝え、了解を得た。

### 3) 倫理審査委員会の許可

国立がんセンターの倫理審査委員会において、「本研究は、『疫学研究に関する倫理指針』第1の4(3)の規定に基づき、倫理審査委員会への付議を不要とし、研究を行っても差支えない」との許可を受けた。

## C. 結果

相談者1人あたりの Lay Topics は平均

6.7個(range: 1-15個)、24事例で合計160個の Lay Topics が抽出された(表1)。研究者間での抽出一致率(LT/全LT)は0.78(range: 0.25-1.00)であった。

乳がんの診療ガイドラインの掲載内容別の Lay Topics の分布を表2に示した。Lay Topics の数が多かったのは、手術15名(63%)、薬物12名(50%)、転院・再発7名(29%)であった。一方でガイドラインに掲載されていない「その他」に分類された内容も8名(33%)からあげられていた。「その他」に分類された Lay Topics は、たとえば、「患者会に入りたいが、おすすめのところはありますか」「(リンパ浮腫で動くのもままならないのに)介護認定が下がって、外に出るトコトコも取りあげられてしまい、どこにも出られない」「(自分は今47才ですが)死ぬ年齢ですか」「何年生きられるのかなあと思う。まわりの人が亡くなっていくので、次は自分の番なのか」などであった。

また、個別事例ごとの既存情報との対応状況の比較を表3および図1に示した。相談内容すべてが、ガイドラインでカバーされている事例がある一方で、相談者によって相談員に寄せられている相談内容のすべてが、ガイドラインでは対応不能な事例も見られた。

## D. 考察

### Lay Topics 抽出の安定性

平均15分の相談に対して、各相談者からあげられた“相談者から自発的に出された、疑問、尋ねたいこと、不安や困っていることを含む発言”は、相談者1人あたりの Lay Topics は平均6.7個(range: 1-15個)であり、24事例で合計160個の Lay Topics が抽出

された。相談者によってばらつきはあるものの、相談者ひとりの抱える質問や疑問は、比較的多くあるといえるのではないだろうか。

Lay Topics 抽出の研究者間での抽出一致率 (LT/全 LT) は 0.78 (range: 0.25-1.00) であり、若干ばらつきはあるものの、ほぼ安定して Lay Topics を抽出できることが確認された。

#### 既存情報 (診療ガイドライン) との対応

相談者から出される質問/疑問について、2009 年に出された「患者さんのための乳がんガイドライン」に沿って、どのような内容が多いのか、また、既存の情報でどの程度答えることが可能かについてみた分布からは、相談者 24 名すべてが診断後であったこともあり、予防や検診についての疑問はあげられていなかった。多くあげられていたものは、手術、薬物の治療に関する内容、転移・再発に関する領域での質問/疑問で、20~30 となっていたことは、納得のいく結果であると考えられる。

一方で、「その他」に分類された「診療ガイドライン」では対応できない質問・疑問もあげられていた。「その他」に分類された質問・疑問をみると、『患者会』『療法情報』『実存的な悩み・声をどう聴くか』などに関してで、これらは、エビデンスのある情報として整理がしにくいものであるものではあるが、患者や家族にとっては、知りたい情報であり、患者や家族のニーズに沿った情報提供をしていく際には、別途用意しておく必要があることが改めて示されたといえる。

また、今回の検討から相談者からあげら

れる質問/疑問の領域は、その他に分類された 8 名 (全 24 名のうち 33.3%) からあげられた 28 Lay Topics (全 LP の 17.5%) を除いては、ある程度「患者さんのための乳がん診療ガイドライン」で対応可能であるという結果であった。しかしながら、個別事例ごとの既存情報との対応状況の検討では、相談者ごとにカバーすべき領域は非常に多岐にわたることが示されたように (図 2)、患者が「患者さんのための乳がん診療ガイドライン」から知りたいことを探すこと、また探した内容を理解するには、非常に労力のかかる作業であり、場合によっては精神的に安定していない、混乱状況にある患者がさがした情報を理解できないことも十分あると考えられる。また、相談員が情報を提供する場合にも、これらの広い対応領域から情報を即座に探せるような教育やトレーニングが必要となるといえるだろう。

#### Lay Topics にあげられた内容

ガイドラインとの対応領域だけでなく、ガイドライン内の情報である程度回答可能と分類された LT について、さらにその内容を詳しく見ていくと、必ずしも LT に沿った具体的な回答に沿うものばかりではない内容の質問/疑問があげられていることも示された。

たとえば「性質のいいがんじゃないといわれているが、やっぱり抗がん剤は受けた方がいいのでしょうか」といった質問にみられるように、自分のがんの状態が十分にわかっていないために、情報を探そうにも探せないというケースや医師からの説明で、「リンパ節転移ない」「非浸潤性のがんである」「切除断面からがん細胞がみつかった」